

～えがおいっぱい ゆめいっぱい～

わきのしま

令和3年8月27日
多治見市立脇之島小学校
学校報 第10号

緊張感をもって夏休みを明ける

校長 西尾伸一郎

夏休みが終わり、子供たちが学校に登校してきました。今日からの学校生活に備えてたくさんの荷物や、夏休みの頑張りを両手いっぱい抱えて登校する子供たちの姿を見て、改めて身が引き締まる思いです。

今年の夏休みは、オリンピックのテレビ観戦、災害級の豪雨や長雨、コロナウィルス新規感染者数の拡大など例年の夏休みより家庭内で過ごすことが多かった夏休みだったのではないかと推察しています。

また、夏休み終盤からのコロナ感染急拡大に関わって、保護者・お子さんには登校に対して少なからずご心配をお持ちではないかと存じます。先日多治見市教委からの絆メールにもありましたが、本校はお子さんの居場所として、学習面、精神面、健康面において大きな役割を担わせていただいていると自認し、本日より学校をスタートします。

感染防止に関わって、現在9月12日（日）まで出されているまん延防止等重点措置地域の指定及び緊急事態宣言期間中の本校の方針と対策について以下のように考えています。

- 異学年が交わった活動をさける。
 - ・夏休み明け集会は、各教室にて動画で行う。
 - ・トイレを学年別にする。（6年生は3階西トイレ）
 - ・下校の整列を学年別場所で行う。登校時は間隔を空けて現行の方法でおしゃべりなしで行う。
 - ・委員会活動・当番活動では、学年別教室を使ったり学年別当番にしたりする。
 - ・図書貸し出しを学年毎に行う。
- 共有の回避 共有部の消毒
 - ・トイレ掃除を子供に行わせない。子供たちの下校後、教室等の共有部の消毒をする。
 - ・掃除に使う道具を共用しない。
 - ・共有教材を使用する時は、使用前に消毒をする。
 - ・特別教室を含めた全教室前に消毒液を設置する。
- 外部講師等の授業・活動は中止または延期
 - ・夏休み作品展は、保護者にはオンデマンド配信をする。
 - ・道徳参観は、まん延防止・緊急事態宣言が延長され当日に掛ればオンデマンド配信にする。
- 三密をさけた活動、その他
 - ・教育活動について 接触を減らす工夫をし、長時間・近距離での対面活動はしない。休み時間などの過ごし方を子供と共に考える。
 - ・朝の検温チェックを非接触で。登校時の昇降口でアルコール手指消毒を徹底する。
 - ・10月予定の5・6年生宿泊を伴う行事の延期。（5年：12/2・3 6年：12/9・10に）伴って、個人懇談期間を変更することがある。
 - ・濃厚接触者等への学習支援のためオンライン授業に備えたiPad環境の整備を進める。

このような対応をしながら、教育活動を進めていきたいと考えております。

今、市井に広がっていると言われるデルタ株は感染力が非常に強いようです。ご家庭でも家族の皆さんが外から帰られた時の石けん手洗い・うがいなどの徹底に加え、ご家族の検温等健康観察を徹底していただき、ご家族に体調不良があれば早めの受診をお願いします。その際には学校へもご連絡ください。

また、現在の状況の中では、本校に関係するどなたかが陽性判定を受けることも想定しておかなければなりません。そんな時でも「一番つらいのはご本人とご家族だよ。誰もがそうなる可能性がある。誰も責めず一緒に乗り越えよう。」と相手を思いやることのできる一人一人でありたいと思います。PTAでは同意の「シトラスリボン活動」も推進していただけます。脇之島小学校全校で思いやりの心をはたらかせ、このコロナ禍を乗り越えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。